

全国二尺玉花火競技大会 採点シート

標準
審査玉

(有)安藤煙火店 (山形県)

のぼりきょくどうつき

昇曲導付

さんどへんか しんきょくさき こどへんかぎく

三度変化芯菊先五度変化菊



安藤 孝二

内側にある芯星という星が3回変色し、大きく開く外側の星(親星)が5回変色します。星の変化するタイミングがうまく揃えば光の波紋が浮かび上がります。

点



酒田市公認マスコットキャラクター
あののん

最初に審査の基準となる
花火が打ち上げられて
点数が発表されるのん!
その点数をもとに自分でも
点数をつけてみるのん♪

前半

競技No 新瀉煙火工業(株) (新潟県)

1

にしきかむろせんりん

錦冠千輪



小泉 欽一

中心に花びらが入り、点滅錦冠の千輪菊です。

点

競技No (株)紅屋青木煙火店 (長野県)

5

や え しん にしきかむろぎくはなもようざき
八重芯錦冠菊花模様咲き



青木 昭夫

芯が2重に入り全体で3重に開きます。
一番外側の星は花ピラの模様を表現します。

点

競技No アルプス煙火工業(株) (長野県)

2

のぼりきょくどうつき

昇り曲導付

や え しん にじいりまんげきょう

八重芯虹入り万華鏡



矢沢 武彦

八重芯で親星に虹変化の星と万華鏡を入れました。

点

競技No 阿部煙火工業(株) (新潟県)

6

のぼりきょくどう こはなさき や え しん きんせんかむろ

昇曲導小花咲八重芯金閃冠



阿部 友希

芯が二重に入り、外側の親星に特殊な金属粉を配合した、
金色に垂れ下がる星を用いて作製しました。

点

競技No 根岸火工(有) (埼玉県)

3

のぼりざんりゅうたいりん ごしよくせんりん ぼたん

昇銀龍大輪五色千輪牡丹



根岸 大夢

上空で玉が炸裂し、のちに五色の小割が一斉に咲きます。

点

競技No 響屋大曲煙火(株) (秋田県)

7

のぼりこばなじゅうごだんつき

昇小花十五段付

や え しん ひかりのうえーぶ

八重芯光のウエーブ



齋藤 健太郎

芯と親星に色に変化する星をつかい精巧に配列しました。
二尺玉でしか表現できない波打つ“光のウエーブ”をお楽しみください。

点

競技No (有)伊那火工堀内煙火店 (長野県)

4

のぼりきょくどうつき み え しん

昇り曲導付 三重芯

きんせん おおかむろさき き てんめつ

金閃大冠先黄点滅



柴田 武晴

20号では珍しい三重芯で製作いたしました。三色の芯が重なって開き
その周りに細かいキラキラが垂れ下がり最後に大きなキラキラが輝きます。

点

競技No (有)菊屋小幡花火店 (群馬県)

8

さとやまの わすれがき
里山の忘れ柿



小幡 明知

雪国の里山で秋に実った柿が収穫されずに放置され、
そこに雪が積もっている。そんな切なくも美しい情景を描きます。

点

審査員 (敬称略)

審査委員長 花火評論家 奥村 純
花火プロデューサー 穂戸田勇一
市民代表 小野 英男

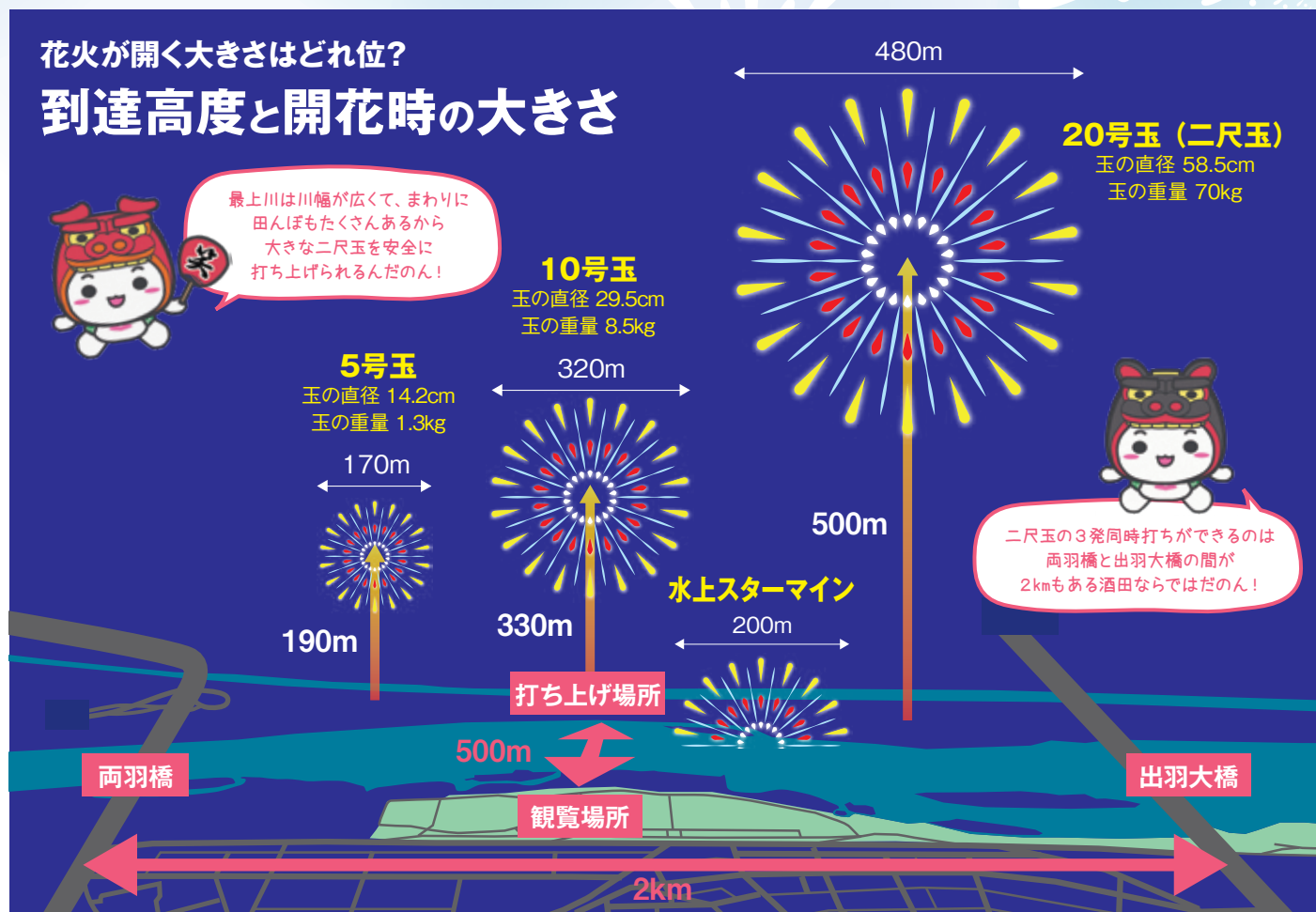
大会会長 丸山 至
実行委員長 加藤 聡

賞

優勝 一大会会長賞一
準優勝 一実行委員長賞一

二尺玉 (20号玉) とは？

花火の号数のひとつで、打ち上げ幅約500メートルの非常に大きな花火です。酒田の花火の会場である最上川河口域の広さは、打ち上げ場所としては最適です。恵まれた環境を生かした、酒田ならではの二尺玉花火をお楽しみください。



花火審査ポイント 1項目 20点採点

競技大会では、100点満点で点数がつけられます。皆さんも審査員になったつもりで、花火を見てみては？

① 花火の名前(玉名)と花火の形が合っているか (5ページを参照してください)

② 玉の座り



打ち上げられた花火玉がいちばん高くあがった時に開くか。

③ 盆



花火が大きくてきれいな丸い形に開くか。

④ 肩



星が抜けたりふらふら泳いだりせず勢よく広がるか。

⑤ 消え口



開いた星の先が同時にパッと消えるか。

花火には どんな種類があるの？

酒田市公認
マスコットキャラクター
もしえのん

ちょこっと
解説コーナー



花火大会で見られる花火は、「**打ち上げ花火**」と「**仕掛け花火**」に大きく分けられます。

打ち上げ花火には、星が球形に開く「割物」、花火玉が上空で2つに割れて中の星を放出する「ポカ物」、多数の小さな花火が一齐に開く「小割物」などがあります。特に、夜空に大きく丸い花火を咲かせる「菊」や「牡丹」といった割物は、日本を代表する伝統的な花火です。割物の中でも、子どもたちに人気の動物やキャラクターなどを象った花火は「型物」と呼ばれ、さまざまなバリエーションがあります。

一方、**仕掛け花火**には、たくさんの花火を連続して打ち上げる「スターメイン」でおなじみの「打ち出し物」、等間隔に並べたパイプから火の粉が滝のように流れ落ちる「ナイアガラ」といった「張物」、花火の推進力で風車のように回る「回転物」など、変化に富んだプログラムが分類されています。

花火にはこの他にもさまざまな種類があり、特徴によって細分化されて「菊」「万華鏡」「千輪」などそれぞれに名前がついています。花火の種類を知っていると、見慣れている花火大会も、いつもと違った見方ができるかも！ご興味のある方は、ぜひ調べてみてはいかがでしょうか？



いろんな種類の
花火が
酒田の夜を
彩るのん！

代表的な花火



きく
菊

「引」とも呼ばれ、星が尾を引いて菊のように丸く開く。「変化菊」や「八重菊」など多くの種類あり。



かむろ きく
冠菊

「菊」の一種。星がゆっくり下へ垂れてくる。一般的には金色だが「錦冠菊」「銀冠菊」も代表的。



せん りん
千輪

上空で音がして、少し遅れて一齐にいくつもの花が咲くもの。導火線の長さで時間差が生まれる。



やし
椰子

太い花弁を椰子の葉のように開かせるもの。「バームツリー」とも呼ばれ、日本から世界中に広まった。



かた もの
型物

UFOや星型など何かの形を真似たもの。花火師たちの工夫・努力で近年はキャラクターものも急増。



スター
メイン

打ち上げ方法のひとつ。いくつもの花火玉を数百本にも及ぶ筒に装填し、速射連発で打ち上げる。